

墨田区社会福祉法人連絡会（仮称）第1回準備会 議事録

日時	平成30年3月20日（火）午後1時半～2時50分
場所	墨田区社会福祉協議会（墨田区東向島2-17-14 すみだボランティアセンター）
議題	連絡会のあり方・今後の進め方等

内容
<p>1. 墨田区社会福祉協議会 西原会長挨拶</p>
<p>2. 法人自己紹介</p>
<p>3. 講演：東京都社会福祉協議会地域福祉部地域福祉担当 小川和江様 「社会福祉法人の連携による地域公益活動の必要性と他地区の取組み状況について」 (資料に基づき説明)</p>
<p>4. 協議事項</p>
<p>(1) 連絡会のあり方 司会進行：墨田区社会福祉協議会 西原会長</p>
<p><墨田区社会福祉協議会 西原会長> それでははじめに、(仮称) 墨田区社会福祉法人連絡会の役割、あり方などについてのご意見があればお伺いいたします。</p>
<p><爲宝会 井上様> 他区で行われている公益活動について、とても素晴らしい活動もあると思います。しかし地域性の違いなどから墨田区にとって参考になるか検討が必要であると思います。実務上、介護老人保健施設の支援対象者とケアマネージャーの対象者、医療機関の対象者は違いますが、そのどこにも入らない「(制度の) 狭間」の対象者の問題があります。そういった利用対象者の枠を越えて支援していくのかどうか、検討が必要であると思います。各法人で支援対象者でない範囲の方の支援をしている法人に連絡、相談ができるといいのではないかと思います。</p>

<東京都済生会 小寺様>

区内で病院を運営していますが、社会福祉法人ですので無料低額診療と規定されています。その他公益活動としては、職員による健康相談、健康講義、医療職が持つ知識やノウハウを情報提供しています。

<賛育会 山本様>

公益活動としてこれまでも、外国人介護者への日本語教室、高齢者閉じこもり予防のランチや居酒屋、居場所作りを他機関の施設や民生委員と一緒にいたり、看護師、助産師による小中学校でのいのちの授業等いろいろな取組みを行っています。また、他市にある施設では子供たちの孤食を防止するため、グループホームを場所として借りて地元の大学生ボランティアと一緒に子供食堂を行っています。今後墨田区においても公益活動を行いたいと考えています。

また、発災時に各法人と連携をとることがとても重要であると思っています。大規模の災害があった場合に一つの法人だけでは絶対解決できない問題が出てくると思います。そういった問題を法人間で連携し協力ができればと考えています。

<みんなのおうち 西村様>

私どもは一法人一施設の小規模な法人です。法人として大々的に公益活動ができるわけではないのですが、法人の中で地域福祉活動として何ができるか、在宅で子育てしている方にどのような貢献ができるかを日々考えています。

私どもの法人は保育園ですので子どもの保育が主ですが、保育園の近くにマンションが建ったとき、保育園の説明会を開催しチラシを配布したりしました。それをきっかけに町会や自治会との関わりが出来てきました。

今までは保育関係の機関としか交流が無く、高齢者、障害者関係の機関と交流がほとんどありませんでした。しかし、保育所の中でも障害の問題や世代間交流として高齢者と関わる機会もありますので、同じ地域で同じ事業をしている法人同士顔が見える環境づくり、お互いの強みや課題を共有することが、本準備会にとってまず第一ステップであるのではないかと感じています。

墨田区ならではの地域特性もありますので、そこも加味しながら皆さんと協力していきたいと思っています。そうすることで地域課題も出てきますので、皆で地域課題を模索し課題解決に向けて着実に一歩ずつ進めていければと思います。

<東京都手をつなぐ育成会 阿部様>

墨田区内ではグループホーム事業を行っています。公益的な活動としては、区民の方に施設内の部屋を貸し出したり、災害時に二次的避難場所として地域に開放し、連携する取り決めも行っていきます。

先ほども話に出ました制度の狭間の対象者に当施設の利用者が該当するのではないかと心配しています。利用者が高齢化し、障害者支援制度から高齢者の介護保険制度へと制度の移行期間のとき、ちょうど「(制度の) 狭間」になるとどちらの支援を受けていいのか、受けられるのが曖昧であるため、そこの線引きを理解し把握をしたいと思っています。そのためにも法人同士で協力し情報共有ができると、利用者にとっても安心して生活を送ることができるのではないかと思います。

<社会福祉事業団 荒光様>

全ての事業が墨田区の指定管理、または委託事業となっています。さまざまな事業を実施していますが、例えば生活介護、地域包括支援センター、高齢者見守り相談室については地域にとって公益的な事業となります。

公益的な事業を墨田区の委託事業として行っているため、新たな事業展開というところまでは手を広げにくい状況となっています。

この準備会の中でお互いに連携できること等、例えば人材不足の面で求人情報の共有、人材育成についての情報提供等ができればと考えています。

<墨田区社会福祉協議会 西原会長>

様々な事業を行っている法人がお互いに話をすることによって、課題を洗い出すことができ、情報共有や連携することにより課題を一つずつ解決できるのではないかと思います。

今回、東社協よりご説明していただいたことや、他地区の状況等も参考にしながら墨田区に求められている課題を考えていければと思います。

(2) 今後の進め方等

<墨田区社会福祉協議会 西原会長>

次に、今後の進め方についてご意見をお願いします。

小川さん、他区市町村は準備会からどのくらいの期間で連絡会が発足していますか。

<東京都社会福祉協議会 小川様>

準備会なしで一気に立ち上げを行うところもあれば、準備会を数回行い立ち上げるところもあります。また、勉強会や学習会を行いそのまま立ち上げるところもあります。その他、活動内容をはじめに決めて、そこから中身を議論して組織を立ち上げているところもあります。立ち上げの期間としては、2、3年かけているところもあれば、数ヶ月でできたところもあります。

<墨田区社会福祉協議会 栗田事務局長>

連絡会としてどういう方向を目指すのか、どのような役割を期待するのかということはある程度共通認識が得られるように議論を深めていただければと思います。先ほどの皆様からのご意見を伺いますと、協力し合いこんな公益活動ができるのではないかとの発言や、この連絡会はこのような場として活用するのはどうかとの発言がありました。公益的な活動を連携して行うにしても、それを検討するのがこの場であると思いますので、まずこの会議体の役割、位置づけに対する皆様の認識を一致させた上で議論を進めていただいたほうがいいのではないかと思います。

今日の段階ではまだ連絡会についての認識が明確になっていないのではないかと思いますので、改めて議論をしていただければいかがでしょうか。大事なことは皆様の思いが一致して始めて連絡会が機能すると思いますので、まずは議論を深めていただいたうえで連絡会を立ち上げたほうがいいのではないかと思います。皆様どうでしょうか。

<爲宝会 井上様>

あと1、2回は準備会として進めたほうがいいと思います。

<東京都済生会 小寺様>

もう少し議論を重ねたほうがいいと思います。

<賛育会 山本様>

地域の特性の見極めが大事だと思いますので、もう少し準備会を行ったほうがいいと思います。

(他法人も同意見)

<墨田区社会福祉協議会 西原会長>

次回も準備会として開催させていただき、具体的に方向性をはっきりとまとめていきたいと思います。皆様からのご意見も改めて聞かせて頂きたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

5. 情報提供：社会保健部社会福祉法人係 係長 笠川 淳様

「社会福祉充実計画策定の流れ」

決定事項

墨田区社会福祉法人連絡会（仮称）立ち上げについては、準備会をあと1、2回開催し、今後の方向性や方針について議論をかさね、認識の一致を図ることとする。

次回開催予定：6月前半（後日改めてご連絡いたします。）

次回予定：[議題] 墨田区社会福祉法人連絡会（仮称） 立ち上げに向けて方針の決定

作成者： 墨田区社会福祉協議会 澤 沙紀

